



小城市立歴史資料館 * 中林梧竹記念館だより

第4期収蔵品展

「梧竹の絵と絵文字」を開催中

梧竹は87年の人生で数多くの作品を残しました。その中でも今回の展示会では、篆書と絵の作品を中心に紹介します。ぜひ、ご来館ください。

◆会期 ～4月12日（日）

◆会場 中林梧竹記念館

◆入場料 200円（大学生以下 無料）



▲展示風景

歴史資料館テーマ展「地域の歴史を

たどる－砥川庄屋文書の世界－」を開催中

砥川庄屋文書は、現在の小城市牛津町砥川地区に関する江戸時代から明治時代までの庄屋関係の古文書です。今回は資料を通して、砥川地区の歴史について考えます。

◆会期 ～4月12日（日）

◆会場 歴史資料館

◆入場料 無料



▲検見落畠落引残地両書抜帳（明治7年）
江戸時代の課税方式を踏襲した資料

おぎの歴史探検隊

肥前千葉氏三代記－千葉胤貞－〈その3〉

父 宗胤の死後1316年、胤貞は初めて肥前小城の土地へ下向しました。胤貞は下向の際京都、関東鎌倉、関東千葉から仏教文化を九州へ導入しました。また京都の八坂神社より御神体牛頭天王の分霊を須賀神社横に祀り、祇園社を建立、山車を造り「山曳き神事」が行われるようになりました。

胤貞は祇園岳に千葉城を築城、この城は肥前地区では最大級の山城でした。千葉氏が築城をする所には、守護神として妙見社が建立されています。翌年の1317年2月8日、肥前小城松尾村に日蓮宗の鎮西本山、「松尾山光勝寺」を創建しました。その後、後醍醐天皇を中心の南朝、足利尊氏を中心とした北朝の南北朝の時代となっていきました。胤貞は北朝に属し、1336年1月足利尊氏に同行、京都で新田

義貞たちに敗れ同年2月九州へ西下、筑前（福岡県）多々良川を境にして、待ち受けた南朝方の肥後（熊本県）の菊池軍、阿蘇軍と戦いました（多々良浜の戦い）。

胤貞はこの戦いで勝利し、足利尊氏より恩賞を賜りました。この戦いの後尊氏と共に東上し南朝方の下総（千葉県）の従弟の千葉介貞胤と争いましたが和解が成立しました。その後1336年11月19日三河（愛知県）において48歳で病死しました。（終）

小城郷土史研究会/著



▲松尾山光勝寺（小城町松尾）

※開館時間 9時～17時

※休館日 毎週月曜日・祝日

小城市ホームページから

梧竹・歴史資料館・文化財

検索

【問合せ・申込み】歴史資料館 文化課（桜城館2階）

担当 下川・永田 ☎71・1132